

IV 人間福祉学研究科

1 . 平成27年度教育課程表

2 . 学位授与へのプロセス

3 . 教職課程について

4 . 臨床心理学専攻の実習計画について

Ⅳ 人間福祉学研究科

1. 平成27年度教育課程表

人間福祉学専攻 専門科目

○単位は必修

授業科目	授業形態	年次・単位数				教員名	備考
		1年次		2年次			
		前	後	前	後		
人間福祉学領域							
人間福祉学特論	講義	②				今井博康	集中講義
						梶晴美	
						黒澤直子	
						佐々木浩子	
						佐藤克之	
						大宮司信	
						久末久美子	
丸岡里香							
生活福祉特論	講義	2				相内眞子	集中講義・隔年開講
人間福祉学研究法	講義	2				森下義亜	集中講義
社会福祉学領域							
ソーシャルワーク特論	講義	2				久末久美子	
						今井博康	
介護福祉特論	講義		2			梶晴美	集中講義
高齢者福祉特論	講義		2			久末久美子	
障害福祉特論	講義		2			今井博康	
						梶晴美	
地域福祉特論	講義			2		尾形良子	集中講義
社会保障特論	講義			2		山本麻由美	集中講義
学際領域特論	講義			2		佐藤克之	集中講義・隔年開講
社会福祉演習	演習			2		今井博康	
						梶晴美	
						久末久美子	
健康福祉学領域							
医療福祉特論	講義	2				黒澤直子	集中講義
健康福祉特論	講義		2			佐々木浩子	
健康科学特論	講義		2			丸岡里香	集中講義
保健医学特論	講義	2				大宮司信	集中講義・隔年開講
健康福祉演習	演習			2		佐々木浩子	集中講義
						丸岡里香	
生活科学領域							
衣生活学特論	講義	2				永田志津子	集中講義・隔年開講
食生活学特論	講義	2				土屋律子	集中講義
住生活学特論	講義		2			佐藤克之	集中講義
福祉環境特論	講義		2			佐藤克之	集中講義
生活科学演習	演習			2		佐藤克之	集中講義
						黒澤直子	

○単位は必修

授業科目	授業形態	年次・単位数				教員名	備考
		1年次		2年次			
		前	後	前	後		
心理学領域							
家族心理学特論	講義				2	佐藤至英 飯田昭人 新川貴紀	臨床心理学専攻同時開講
教育福祉学領域							
教育心理学特論	講義		2			伊藤崇	教職に関する科目併用 生涯学習学専攻同時展開
教育福祉特論	講義		2			白石淳	教職に関する科目併用 集中講義
研究指導							
人間福祉特別研究Ⅰ	演習	②				今井博康	集中講義
						梶晴美	
						黒澤直子	
						佐々木浩子	
						佐藤克之	
						大宮司信	
						丸岡里香	
人間福祉特別研究Ⅱ	演習	②				今井博康	集中講義
						梶晴美	
						黒澤直子	
						佐々木浩子	
						佐藤克之	
						大宮司信	
						丸岡里香	
人間福祉特別研究Ⅲ	演習		②			今井博康	集中講義
						梶晴美	
						黒澤直子	
						佐々木浩子	
						佐藤克之	
						大宮司信	
						丸岡里香	
人間福祉特別研究Ⅳ	演習			②		今井博康	集中講義
						梶晴美	
						黒澤直子	
						佐々木浩子	
						佐藤克之	
						大宮司信	
						丸岡里香	

人間福祉学専攻 教職に関する科目

○単位は必修

授 業 科 目	授業 形態	年次・単位数				教 員 名	備 考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
教 師 特 論	講義	2				白 石 淳	集中講義
教 育 心 理 学 特 論	講義		2			伊 藤 崇	教育福祉学領域併用 生涯学習学専攻同時展開
授 業 開 発 研 究 特 論	講義		2			白 石 淳	
教 育 史 特 論	講義		2			西 出 勉	生涯学習学専攻同時展開 集中講義・隔年開講
教 育 制 度 特 論	講義		2			西 出 勉	生涯学習学専攻同時展開 集中講義・隔年開講
教 育 経 営 特 論	講義				2	高 橋 敏 憲	生涯学習学専攻同時展開
教 育 方 法 特 論	講義				2	諏 江 康 夫	生涯学習学専攻同時展開
教 育 福 祉 特 論	講義		2			白 石 淳	教育福祉学領域併用 集中講義

臨床心理学専攻 専門科目

○単位は必修

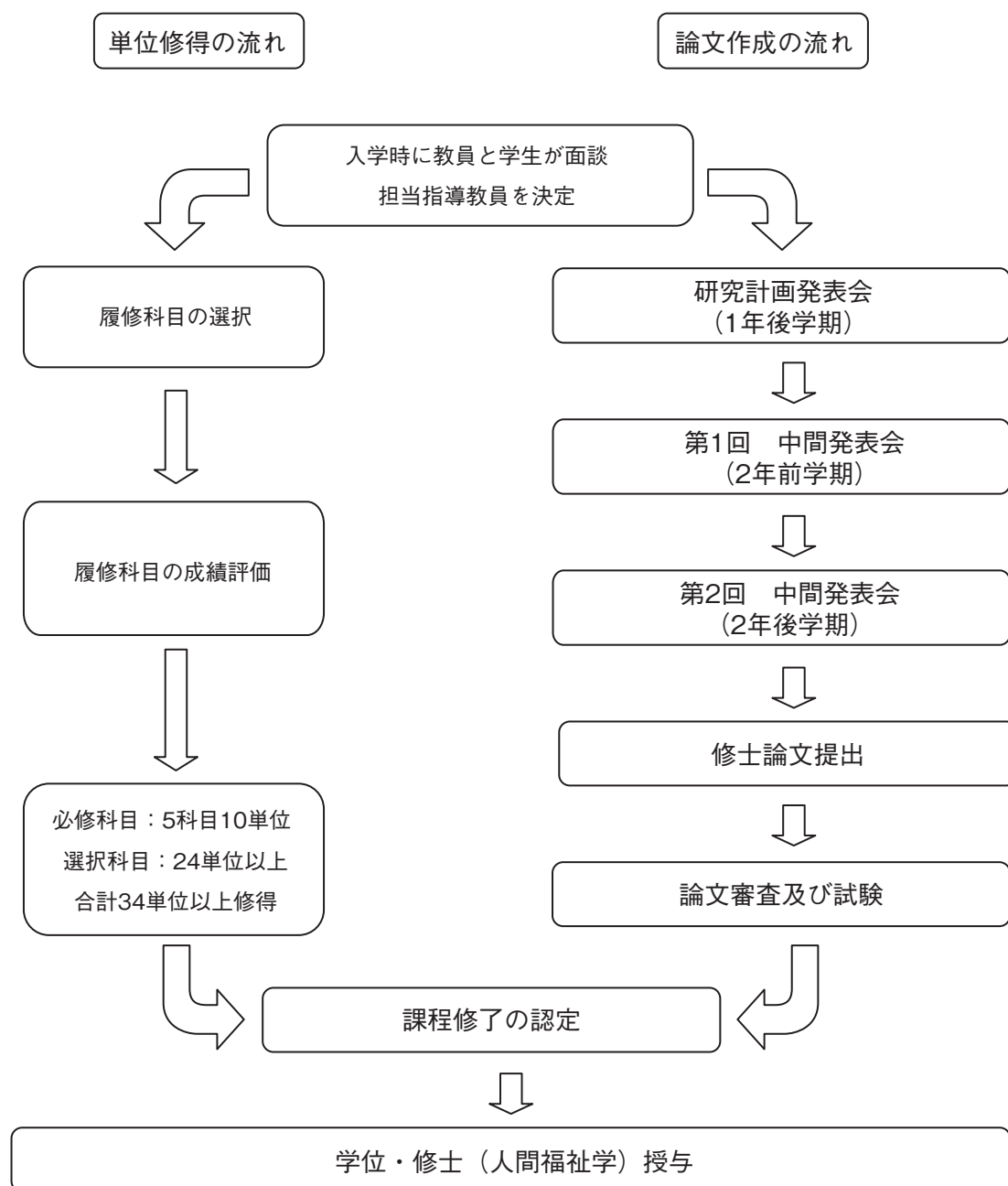
授業科目	授業形態	年次・単位数				教員名	備考
		1 年次		2 年次			
		前	後	前	後		
臨床心理学領域							
臨床心理学特論Ⅰ	講義	②				風間雅江	
						佐藤至英	
臨床心理学特論Ⅱ	講義		②			風間雅江	
						佐藤至英	
臨床心理面接特論Ⅰ	講義	②				小坂守孝	
						飯田昭人	
臨床心理面接特論Ⅱ	講義		②			新川貴紀	
人格心理学特論	講義	2				澤聡一	隔年開講
家族心理学特論	講義				2	佐藤至英	人間福祉学専攻同時開講
					飯田昭人		
					新川貴紀		
精神医学特論	講義	2				武藤福保	集中講義
心身医学特論	講義		2			井出雅弘	
障害者心理学特論	講義			2		風間雅江	隔年開講
心理療法特論	講義			2		小坂守孝	隔年開講
学校臨床心理学特論	講義				2	山谷敬三郎	
コミュニティ心理学特論	講義	2				小坂守孝	隔年開講
基礎心理学領域							
心理学研究法特論	講義	2				風間雅江	
						澤聡一	
認知心理学特論	講義			2		風間雅江	隔年開講
生理心理学特論	講義	2				田村卓哉	隔年開講
発達心理学特論	講義			2		新川貴紀	
社会心理学特論	講義		2			今川民雄	集中講義
演習							
臨床心理査定演習	演習	←④→				飯田昭人	
						新川貴紀	
						谷中みゆき	
心理学特別演習	演習	← 4 →				小坂守孝	
						飯田昭人	
						風間雅江	
						澤聡一	
						新川貴紀	
						村瀬嘉代子	

○単位は必修

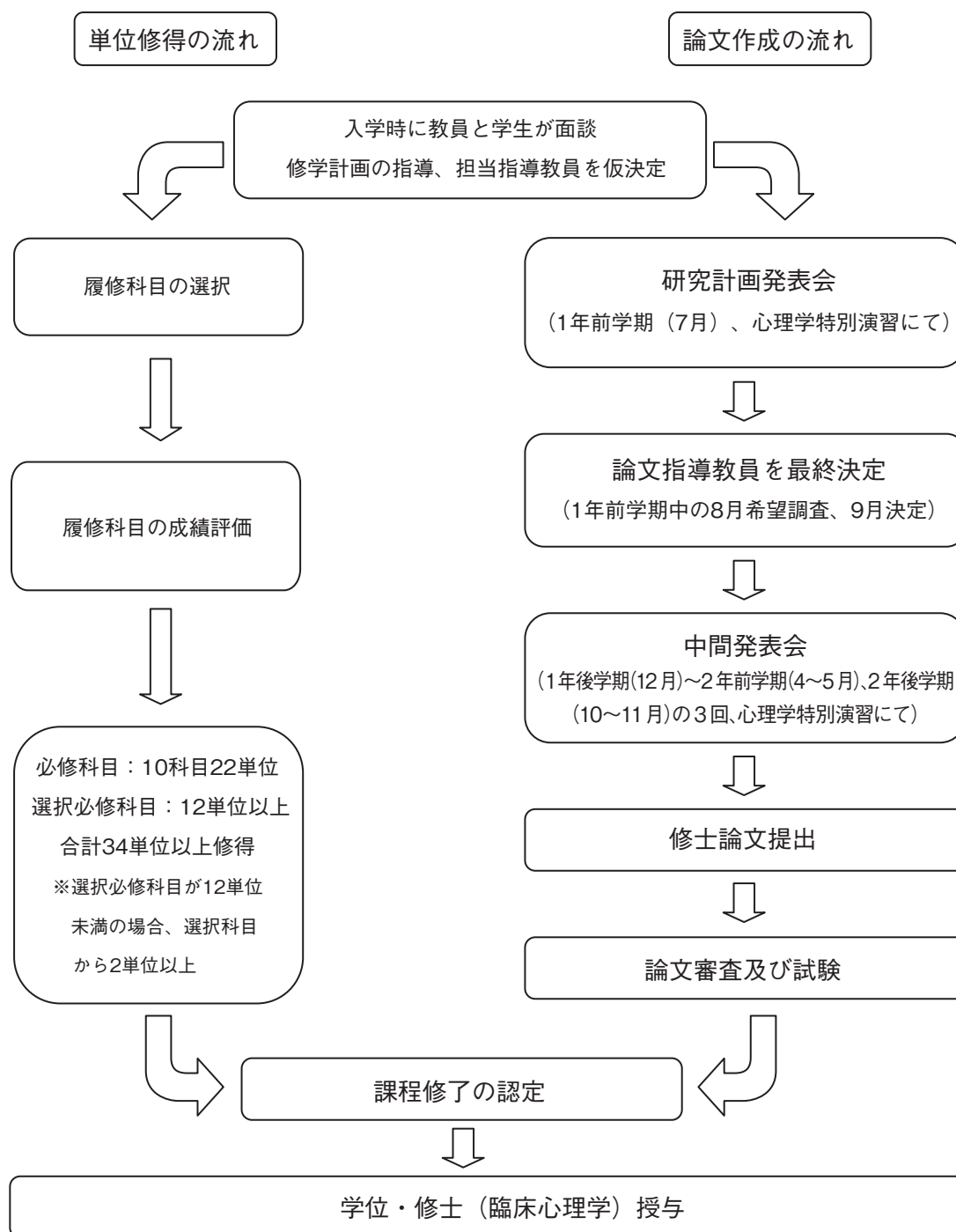
授業科目	授業形態	年次・単位数				教員名	備考
		1年次		2年次			
		前	後	前	後		
実習							
臨床心理基礎実習	実習	←②→				新川貴紀	事前事後指導を含む
						飯田昭人	
						風間雅江	
						小坂守孝	
						澤聡一	
						村瀬嘉代子	
臨床心理実習	実習			←②→		小坂守孝	事前事後指導を含む
						飯田昭人	
						風間雅江	
						澤聡一	
						新川貴紀	
						村瀬嘉代子	
						井出雅弘	
						斉藤美香	
						谷中みゆき	
						手代木理子	
						藤崎知美	
						渡辺多会子	
						研究指導	
修士論文指導Ⅰ	演習		②			飯田昭人	集中講義
						風間雅江	
						小坂守孝	
						澤聡一	
						新川貴紀	
修士論文指導Ⅱ	演習			②		飯田昭人	集中講義
						風間雅江	
						小坂守孝	
						澤聡一	
						新川貴紀	
修士論文指導Ⅲ	演習				②	飯田昭人	集中講義
						風間雅江	
						小坂守孝	
						澤聡一	
						新川貴紀	

2. 学位授与へのプロセス

①人間福祉学研究科人間福祉学専攻



②人間福祉学研究科臨床心理学専攻



3. 教職課程について

人間福祉学研究科人間福祉学専攻では、下記に示す専修免許状の課程を有している。

既に高等学校教諭一種免許状（福祉）を有している者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に規定された科目を修得することにより、高等学校教諭専修免許状（福祉）を取得することができる。

専修免許状の取得を希望する者は、本研究科において、基礎資格として修士の学位を取得し、北翔大学大学院教職課程履修規程別表第1の規定に従って24単位以上を修得する必要がある。

（Ⅸ 諸規程・資料2 北翔大学大学院教職課程履修規程 99p. 参照）

研 究 科	専 攻	免許状の種類及び教科
人間福祉学研究科	人間福祉学専攻	高等学校教諭専修免許状（福祉）

4. 臨床心理学専攻の実習計画について

1) 臨床心理基礎実習

①意義と目的

臨床心理基礎実習の目的は、心理臨床活動を行う上で必要な、基礎的態度と臨床心理学的技法を習得するとともに、心理臨床の現場における参加観察を通して、心理臨床の実践を体験することである。

②展開方法

前学期は、ロールプレイによる実技指導を18時間（3時間×6回）行う。そのうち6時間は2年次生（＝臨床心理実習の実習生）と合同とする。次に、インテーク実習を12時間（3時間×4回）、SSTおよびCBT実習を12時間（3時間×4回）行った後、後期実習のための事前指導を3時間行い、合計45時間の実習とする。

後学期は、附属臨床心理センター（以下、センター）および学外の2ヶ所の施設において実習を行う。学外施設は状況に応じて適宜追加する。センターでの実習は、実習に適切と思われる来談者の来談に応じ、インテークまたは治療面接等への陪席を各学生3時間程度を予定している。また、学外実習では1回（1日）の実習時間を最低3時間とし、複数施設を合算して計30時間（3時間×10回）を基準としている。状況に応じ、複数施設において適宜実習指導を行うものとする。さらに、実習終了後に事後指導として実習体験の発表報告会を6時間行い、2年次生のケースカンファレンス（3時間×3回）に参加する。実習総時間は、基準では前・後期それぞれ45時間、計90時間であるが、基準時間を上回って行われることがある。

③実習施設

実習施設は、センター、および札幌トロイカ病院（精神科）、ふくじゅ園（児童養護施設）である。また年度途中で、不定期に児童養護施設等へのボランティアの実習に参加する機会がある。

④実習内容

前学期の学内実習は、学内において思春期・青年期から成人期のケースを想定したロールプレイを中心とした実技指導、箱庭・描画についての実技指導、および後期に行う学外実習の事前指導を行う。

事前指導は、学外実習の心得と諸注意、実習施設の概要、実習の概要などについて指導する。

後学期は、センターにおいては心理面接等（プレイセラピー等を含む）への陪席を通して、心理臨床の実際場面について体験する。学外実習では、精神科病院や児童養護施設での心理臨床の実際を体験し、様々な臨床場面に陪席または参加する。具体的には、デイケアおよび急性期・慢性期・認知症の各病棟における集団精神療法への参加、心理面接、心理検査への陪席、プレイセラピー等が主たる内容となる。

事後指導は学内で行われ、実習内容の体験発表を行う。また、2年次生が発表するケースカンファレンスに参加することにより、心理面接の実際について学ぶ。

なお、学内、学外の全ての実習について、毎回、所定の実習ノートを提出する。

2) 臨床心理実習

①意義と目的

臨床心理実習の目的は、スーパーバイザーの指導を受けつつ、自ら軽症例の心理面接やプレイセラピーを継続することにより、心理臨床活動の実際を体験することである。

②展開方法

前学期は、まず学内においてロールプレイを用いた事前指導を6時間（3時間×2回）行う。その後、それぞれの実習施設で学外実習を30時間（3時間×10回）行う。その間、センターにて適切な軽症例がある場合には、適宜、心理査定、心理面接やプレイセラピー等を担当する。さらに、所定の実習施設とは別の学外施設における実習も適宜行う。

実習期間中、担当ケースについてスーパーバイザー（本学教員、または実習施設における指導者とは別の学外指導者）のスーパービジョンを受ける（最低基準として1時間×9回）。

後学期は、前期と同一の施設において実習を継続するとともに引き続きスーパービジョンを受ける。所定の学外施設における実習時間数は前期と同様30時間である。スーパービジョンは継続するため、通年では上記の9時間を超える指導を受けることになる。センターおよび所定の施設以外の学外施設での実習、実施時間数は前期と同様である。実習と並行して、学内でケースカンファレンスを9時間（3時間×3回）行う。このケースカンファレンスには1年次生も参加する。さらに、1年次生の実習体験発表（3時間×2回）の討議に参加する。

臨床心理実習では、臨床心理基礎実習とは異なり、実習生は年間を通していずれか1つの学外施設およびセンターで実習を行う。実習総時間は前・後期でそれぞれ45時間、計90時間を基準とするが、基準時間を上回って行われることがある。

③実習施設

実習施設は、センター、札幌明和病院（心療内科）、札幌トロイカ病院（精神科）、さっぽろ香雪病院（精神科）および、社会福祉法人楡の会（児童発達支援センター）である。また年度途中で、不定期に児童養護施設等へのボランティアの実習に参加する機会がある。

④実習内容

事前指導は、実習施設での実習の準備として、臨床心理基礎実習の体験をふまえて、ロールプレイなどにより面接技法の実技指導を行う。

実習は、センターにおいては、ケース担当教員の指導の下、成人、思春期・青年期クライアントの心理面接や心理査定、または幼児・児童のプレイセラピーや心理査定を行う。学外実習施設での主たる内容は、札幌明和病院では、成人または思春期・青年期クライアントの心理面接や心理査定、札幌トロイカ病院では認知症、成人、思春期・青年期のクライアントの心理面接、心理査定、集団療法、楡の会では、幼児・児童の集団療法である。

なお、学内、学外の全ての実習について、毎回、所定の実習ノートを提出する。